

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 6 月 28 日(2023.6.28)

【公開番号】特開 2023-11074(P2023-11074A)

【公開日】令和 5 年 1 月 23 日(2023.1.23)

【年通号数】公開公報(特許)2023-013

【出願番号】特願 2022-130884(P2022-130884)

【国際特許分類】

C 07 K 7/54(2006.01)

10

C 07 K 1/00(2006.01)

A 61 K 38/12(2006.01)

A 61 K 38/16(2006.01)

A 61 P 5/00(2006.01)

A 61 P 7/00(2006.01)

A 61 P 9/00(2006.01)

A 61 P 25/00(2006.01)

A 61 P 29/00(2006.01)

A 61 P 35/00(2006.01)

A 61 P 37/02(2006.01)

20

【F I】

C 07 K 7/54 Z N A

C 07 K 1/00

A 61 K 38/12

A 61 K 38/16

A 61 P 5/00

A 61 P 7/00

A 61 P 9/00

A 61 P 25/00

A 61 P 29/00

A 61 P 35/00

A 61 P 37/02

30

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 6 月 16 日(2023.6.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

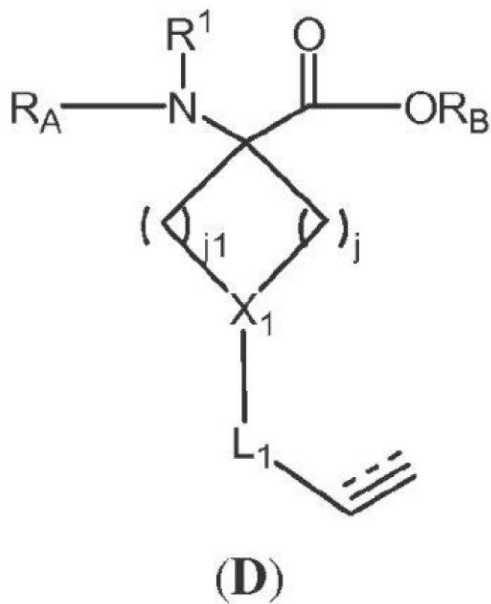
40

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

【化 1】

式 (D) :



10

20

で表され、式中：

【数 1】



は、二重結合または三重結合を表し、

$R^1$  は、水素、アシル、置換もしくは無置換  $C_{1-6}$  アルキル、またはアミノ保護基であり、

30

$L_1$  は、置換もしくは無置換  $C_{1-10}$  アルキレン、または  $-C(=O)OR^{L1}$  であり、ここで、 $R^{L1}$  は、任意置換  $C_{1-10}$  アルキレンであり、

$R_A$  は、水素またはアミノ保護基であり、

$R_B$  は、水素、環式もしくは非環式の分岐もしくは非分岐の脂肪族、環式もしくは非環式の分岐もしくは非分岐のヘテロ脂肪族、アリール、ヘテロアリール、アシル、樹脂、アミノ保護基、または、任意にリンカーによって連結された標識であり、ここで、リンカーは、環式もしくは非環式の分岐もしくは非分岐のアルキレン、環式もしくは非環式の分岐もしくは非分岐のアルケニレン、環式もしくは非環式の分岐もしくは非分岐のアルキニレン、環式もしくは非環式の分岐もしくは非分岐のヘテロアルキレン、環式もしくは非環式の分岐もしくは非分岐のヘテロアルケニレン、環式もしくは非環式の分岐もしくは非分岐のヘテロアルキニレン、アリーレン、ヘテロアリーレン、またはアシレンから選択され、

40

$X_1$  は、N であり、

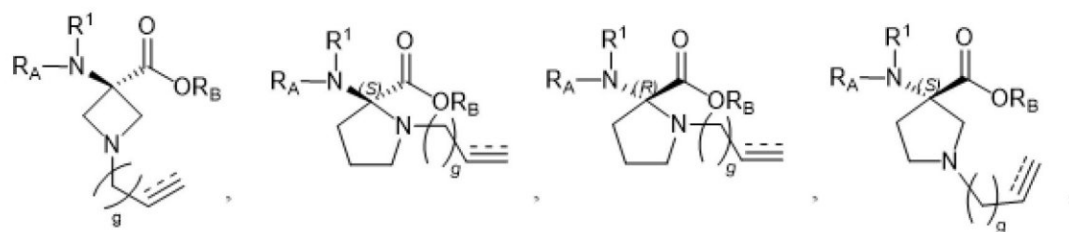
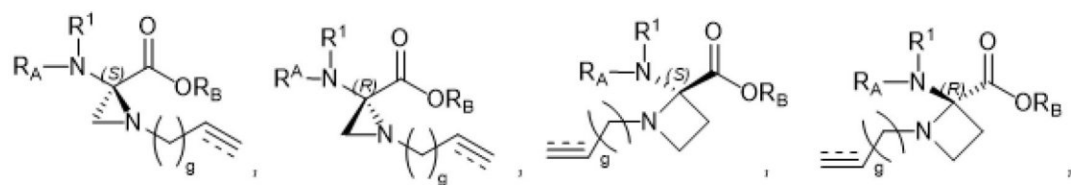
$j$  および  $j_1$  のそれぞれは、独立して、1 ~ 10 の整数であり、ここで、 $j$  および  $j_1$  の一方が 2 である場合には、他方は 1 または 3 ~ 10 の整数である、

アミノ酸またはその医薬的に許容される塩。

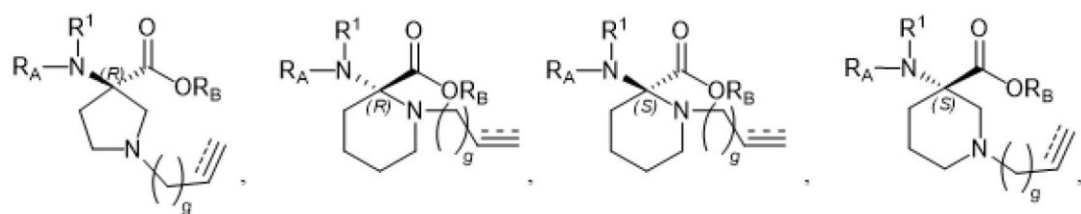
【請求項 2】

50

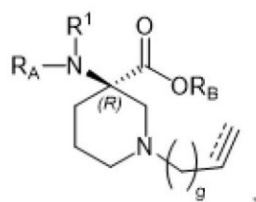
## 【化 2 - 1】



10



20

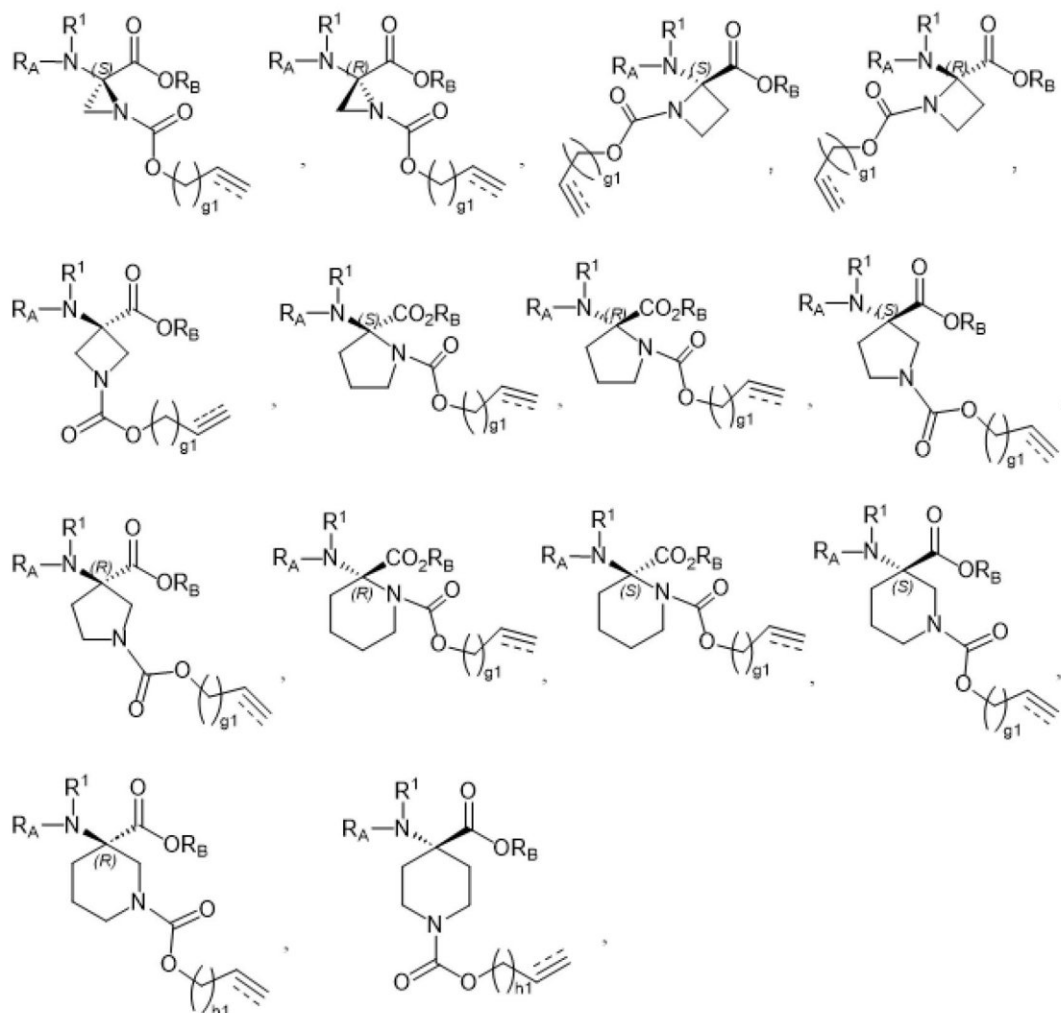


30

40

50

## 【化 2 - 2】



10

20

からなる群から選択され、

30

## 【数 2】



は、二重結合または三重結合を表し、

各  $R^1$  は、独立して、水素、アシル、置換もしくは無置換  $C_{1-6}$  アルキル、またはアミノ保護基であり、

各  $R_A$  は、独立して、水素またはアミノ保護基であり、

各  $R_B$  は、独立して、水素、環式もしくは非環式の分岐もしくは非分岐の脂肪族、環式もしくは非環式の分岐もしくは非分岐のヘテロ脂肪族、アリール、ヘテロアリール、アシル、樹脂、アミノ保護基、または、任意にリンカーによって連結された標識であり、ここで、リンカーは、環式もしくは非環式の分岐もしくは非分岐のアルキレン、環式もしくは非環式の分岐もしくは非分岐のアルケニレン、環式もしくは非環式の分岐もしくは非分岐のヘテロアルキレン、環式もしくは非環式の分岐もしくは非分岐のヘテロアルケニレン、環式もしくは非環式の分岐もしくは非分岐のヘテロアルキニレン、アリーレン、ヘテロアリーレンから選択され、

40

各  $g$  は、独立して、0 または 1 ~ 10 の整数であり、および

各  $g_1$  は、独立して、1 ~ 10 の整数である、

アミノ酸またはその塩。

## 【請求項 3】

50

【数 3】

が、二重結合を表す、請求項 1 または 2 に記載のアミノ酸。

【請求項 4】

【数 4】

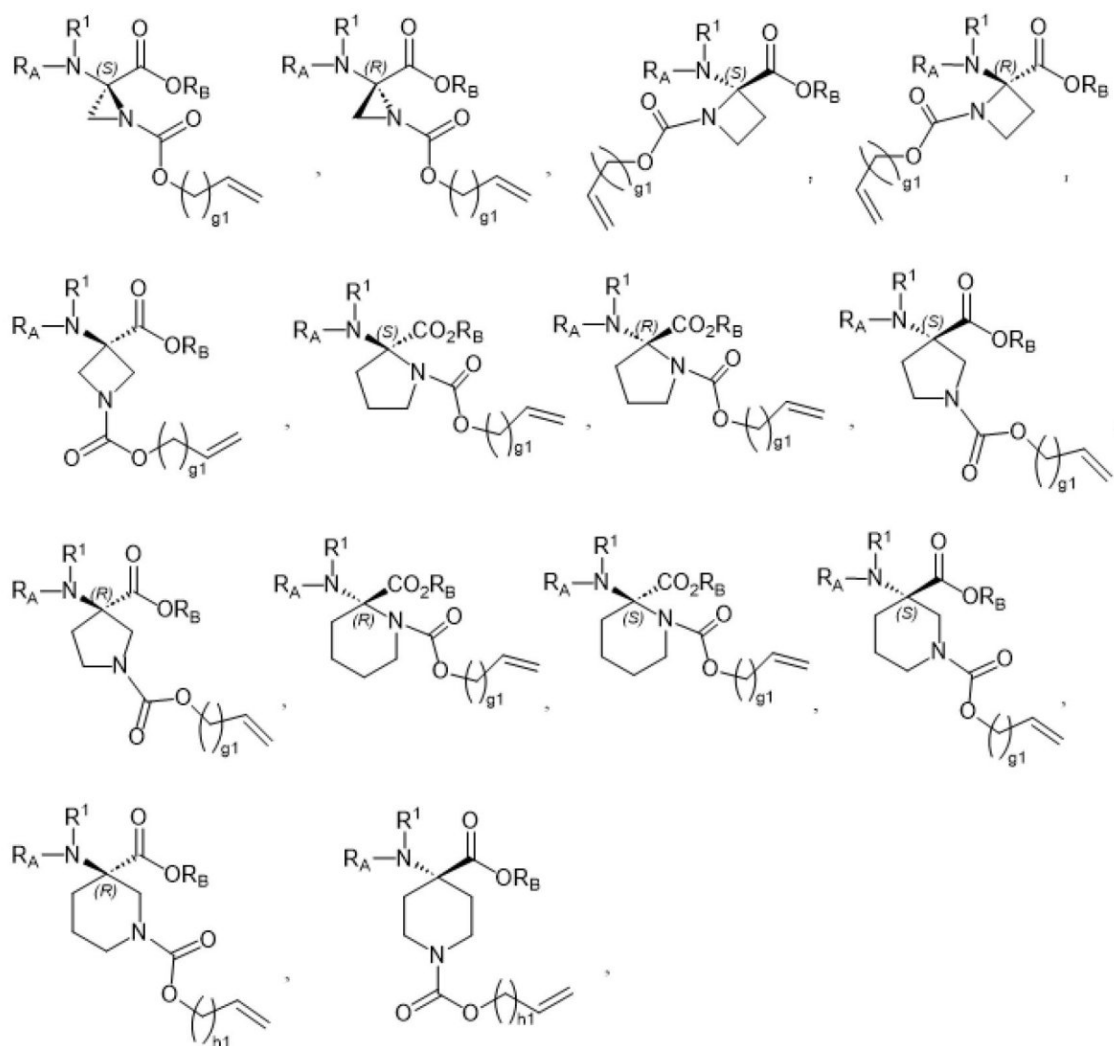
10

が、三重結合を表す、請求項 1 または 2 に記載のアミノ酸。

【請求項 5】

アミノ酸が、

【化 3】



20

30

40

からなる群から選択される、請求項 2 に記載のアミノ酸またはその塩。

【請求項 6】

$R^1$  が、アミノ保護基である、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のアミノ酸。

【請求項 7】

$R_A$  が、水素である、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のアミノ酸。

【請求項 8】

50

$R_A$  が、アミノ保護基である、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のアミノ酸。

【請求項 9】

$R_B$  が、水素である、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載のアミノ酸。

【請求項 10】

$R^1$  が、アミノ保護基であり、 $R_A$  が、水素であり、 $R_B$  が、水素である、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のアミノ酸。

【請求項 11】

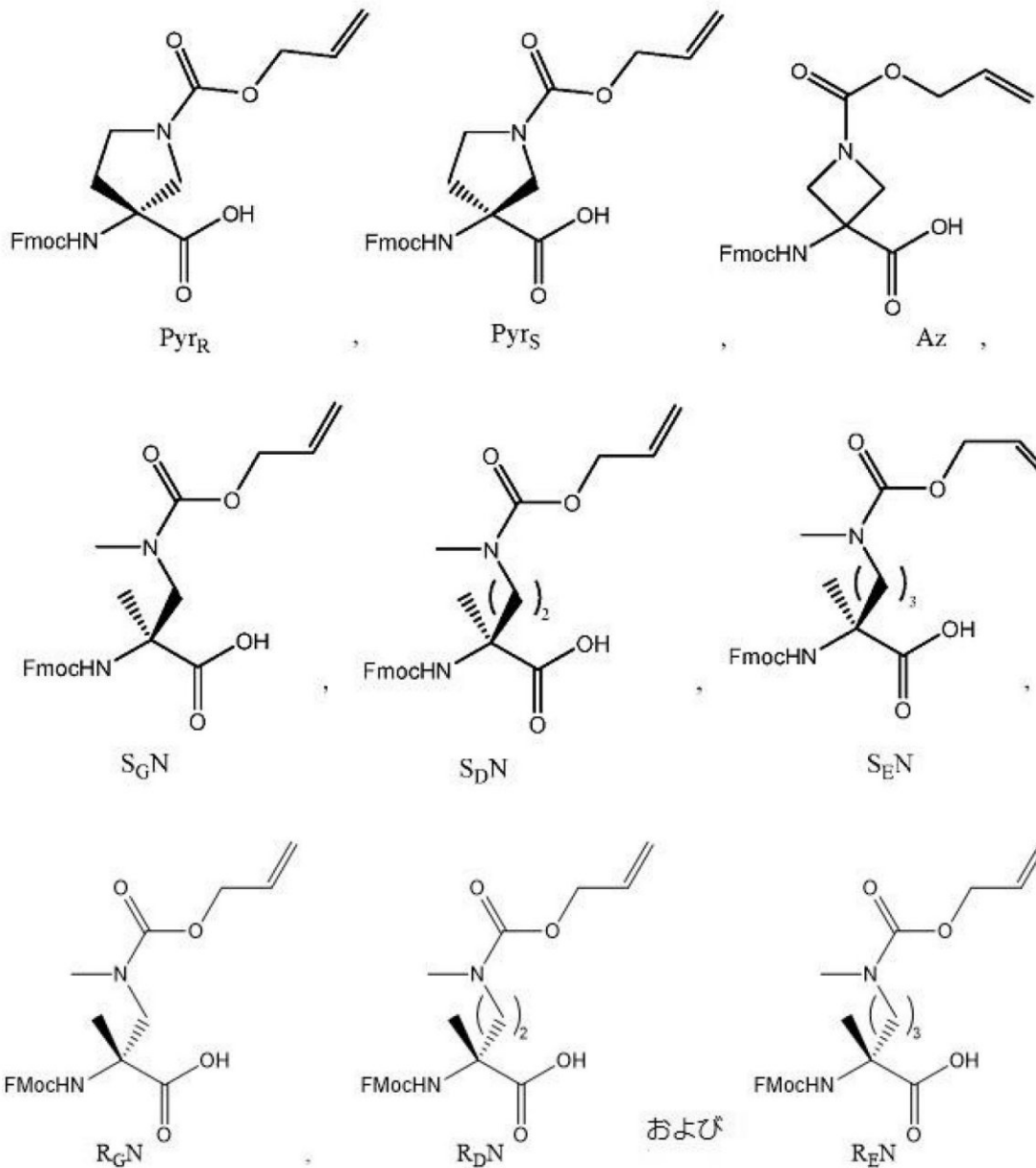
アミノ保護基が、Fmocである、請求項 8 に記載のアミノ酸。

【請求項 12】

アミノ酸が、

【化 4】

10



20

30

40

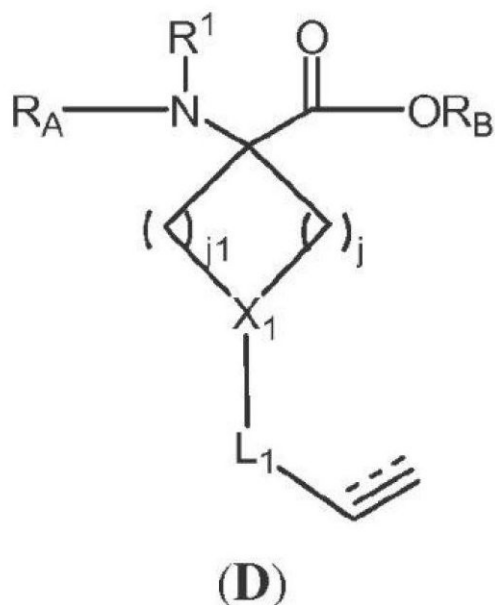
からなる群から選択される、請求項 2 に記載のアミノ酸。

【請求項 13】

50

【化 5】

式 (D) :



10

20

で表され、式中：

【数 5】



30

は、二重結合または三重結合を表し、

$R^1$  は、水素、アシル、置換もしくは無置換  $C_{1-6}$  アルキル、またはアミノ保護基であり、

$L_1$  は、置換もしくは無置換  $C_{1-10}$  アルキレン、または  $-C(=O)OR^{L1}$  であり、ここで、 $R^{L1}$  は、任意置換  $C_{1-10}$  アルキレンであり、

$R_A$  は、水素またはアミノ保護基であり、

$R_B$  は、水素、環式もしくは非環式の分岐もしくは非分岐の脂肪族、環式もしくは非環式の分岐もしくは非分岐のヘテロ脂肪族、アリール、ヘテロアリール、アシル、樹脂、アミノ保護基、または、任意にリンカーによって連結された標識であり、ここで、リンカーは、環式もしくは非環式の分岐もしくは非分岐のアルキレン、環式もしくは非環式の分岐もしくは非分岐のアルケニレン、環式もしくは非環式の分岐もしくは非分岐のアルキニレン、環式もしくは非環式の分岐もしくは非分岐のヘテロアルキレン、環式もしくは非環式の分岐もしくは非分岐のヘテロアルケニレン、環式もしくは非環式の分岐もしくは非分岐のヘテロアルキニレン、アリーレン、ヘテロアリーレン、またはアシレンから選択され、

40

$X_1$  は、Nであり、

$j$  および  $j_1$  のそれぞれは、独立して、1 ~ 10 の整数である、アミノ酸の残基またはその医薬的に許容される塩を含む、ペプチド。

【請求項 14】

請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載のアミノ酸の残基を含む、請求項 13 に記載のペ

50

プチド。

【請求項 15】

ペプチドが、ステアブルドペプチドである、請求項 13 または 14 に記載のペプチド。

10

20

30

40

50